

はじめに

このガイドブックは、A4横開きです。

ぜひ、横に2ページ並べた状態で、ご覧下さい。



砺波市移住定住ガイドブック

あなたも、となみん。

やっぱい

となみ
砺波で暮らそう。



砺波市移住定住ガイドブック

となみ
富山県砺波市





広大な砺波平野に、屋敷林に囲まれた家々が点在する、どこか昔懐かしい景色。

“日本の原風景”といわれる、この「^{さんきょそん}散居村」こそが、^{となみし}砺波市の特徴です。

春は屋敷林を訪れるウグイスの声に耳を傾け、夏は水田を吹き抜ける風が稲穂を揺らし、
秋は庭の柿が赤く色づき、冬は白一面の世界が広がる。

ここでの生活には、四季折々の趣きがあります。

豊かな自然とともに暮らす砺波の人たち（^{となみん}となみん）は、生き方が自然体。

季節の移ろいを感じ、自然の恵みに感謝し、人と人が支え合いながら生きる。

そんな温かい風土の中で、飾らない暮らしをしてみませんか。

あなたも“^{となみん}となみん”





2016
全国
NO.3
TONAMI

※住みよさランキング2016(東洋経済新報社)より

農村ののどかさ 都市の利便性が調和する 「便利な田舎」

交通

渋滞がなくストレス^{ゼロ}0!

広い道と広い駐車場でベークドライバーも安心!
砺波平野は坂道も少なく、自転車移動もラクラク!



通勤ラッシュでも渋滞しない

買物

生活に必要なものは
何でも揃う!

わざわざ遠くの市まで運転する必要がない!
店舗数 富山県内1位!(北陸でも2位!)
(H27 人口千人あたり)



大型ショッピングセンターと周辺

通信

ネット環境も充実!

ケーブルテレビ、大手通信会社の光通信など
ブロードバンド網が市内全域で利用可

医療

地域医療が充実!

公立総合病院や個人病院など、
近所に各種医療機関がたくさんあって安心!
医療施設数 富山県内1位!
(H26 人口千人あたり)



砺波総合病院



あなたに、ぴったりの 田舎暮らしはどれ？

～初級・中級・上級編～

砺波には、大別して3つのエリアがあり、それぞれに魅力的な田舎暮らしが満喫できます。

初級●便利な市街地エリア

まず、首都圏から移住される方にとって、初級の田舎暮らしにあたるのが、“市街地エリア”です。ショッピングモールなどの商業施設や病院、福祉施設、教育機関などが徒歩圏内に点在しているため、日々の暮らしや子育てに大変便利。JRやバスなども走っているため、他市へのアクセスも良好です。

中級●のどかな散居村エリア

中級の田舎暮らしは、市街地のすぐとなりに広がる“散居村エリア”。屋敷林に囲まれた古民家で、昔ながらの暮らしを味わいたい人におすすめです。見渡す限りの田園風景や、ご近所さんとの温かいふれあいが日常に安らぎを与えます。

上級●緑深い里山エリア

上級の田舎暮らしは、庄川の東側に広がる“里山エリア”。色濃い木々やきれいな空気に囲まれて、大自然の息吹を感じながらのスローライフを満喫したい方におすすめです。小鳥のさえずりや季節の草花とふれあい、山菜やきのこなど里山ならではの恵みを楽しむ自然と共生した贅沢な暮らしが魅力です。その分冬は雪深い地域ですが、市街地まで車で10分ほどの距離で不便を感じさせない点も、砺波の里山暮らしのいいところです。

あなたのライフスタイルに最適なエリアは、どれでしたか？移住前のちょっとした参考にしてくださいね。

砺波市の概要

砺波市は、富山県西部に位置し、市域を縦貫する一級河川「庄川」によって形成された砺波平野には、屋敷林に囲まれた家々が点在する「散居村」が広がっており、その景観は日本の農村の原風景とも言われ全国的に知られています。

また、多種多様な商業施設が揃い、医療や子育て環境・高齢者福祉なども充実した日本有数の“住みよさ”を誇る、便利な田舎暮らしが魅力の地方都市です。



●人口・世帯(平成28年10月末現在)

49,119人(男:23,837人 女:25,282人)
16,597世帯

●地勢

面積	127.03平方キロメートル
東西延長	14.3キロ
南北延長	16.2キロ
最高標高	987メートル(牛嶺山頂)

散居村とは

砺波地方には、約7,000軒にもおよぶカイニョと呼ばれる屋敷林に囲まれた農家が点在しています。この緑豊かなカイニョに囲まれた家々が、平野一面に基石を散りばめたように点在する昔なつかしい農村の姿を「散居村」といいます。

散居村では、季節の移り変わりを肌で感じながら、そこに暮らす人々の生活と地域の魅力に触れることができます。

田植え前、水の張られた田んぼに映る夕焼けの幻想的な眺めや、緑いっぱいの夏、収穫を迎える黄金の田んぼ、雪の積もった景観など、四季折々の風景が人々を魅了するのです。

こまやかな心遣い～スローライフと安全、安心～

散居村にある農家には、伝統的家屋である「アズマダチ」「マエナガレ」といわれる大きな民家があります。この家屋を包むようにカイニョが植えられているのは、風雨や吹雪、冬の寒さや夏の暑さを和らげてくれる生活の知恵。自然とともに生きる豊かさ、優しさを実感できます。

地域の見守りがしっかりしているがゆえに、犯罪が少なく火災率の低さも全国一を誇る砺波市。地域コミュニケーションがしっかりした、安全、安心な環境が整っています。また、喜んで人を迎える風土があり、ゆったりとして素朴、優しい人間性にあふれた地域です。

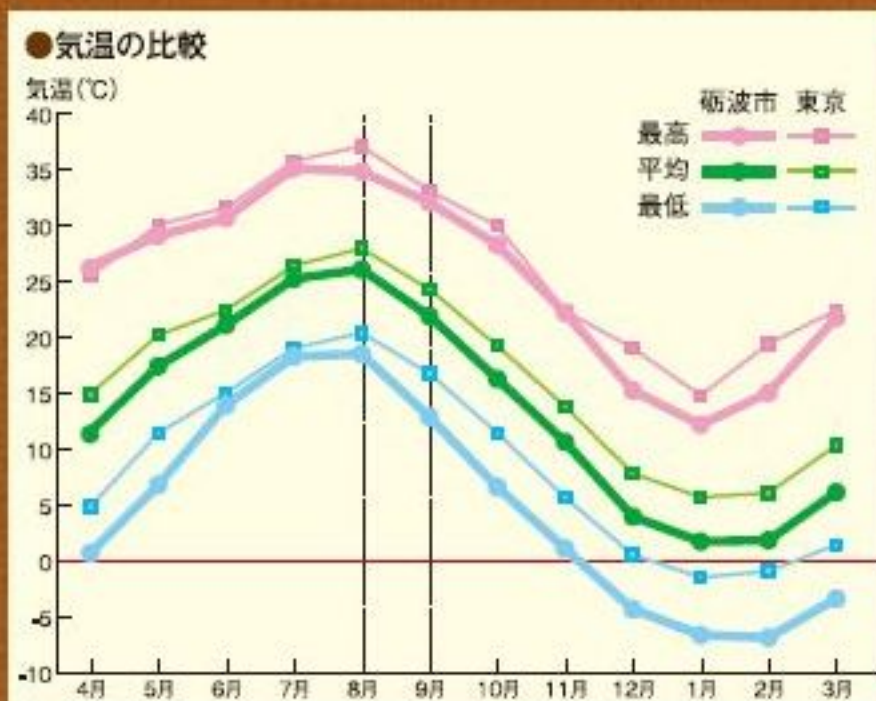
まちと自然が共存した、理想の“都会田舎”

砺波市は、散居景観に代表される自然豊かな田舎の雰囲気を残しながら、交通の便が良く、ショッピングセンターや医療機関、教育施設が充実した、まさに理想の“都会田舎”。

民間調査会社が発表する住みよさランキングにおいて、常に上位にランクインする全国屈指の“住みよい”まちです。

(※)東洋経済新報社の「住みよさランキング」2016年は全国第3位

砺波市の気候



冬には雪が降る日本海型の気候

その年によって違いはあるものの、年間の平均気温は、約14度(2015年)です。夏には最高気温が35度を超えることもあれば、冬には、氷点下になることもあります。

年間降水量は、2000mmを超え、概ね12月から3月にかけて雪が積もる、典型的な日本海型の気候です。

●ポイント

日本らしい四季を、しっかりと感じられます。
9月になるとだんだん気温が下がり、夏の終わりと秋の訪れをハッキリと感じられます。

夏の日中はとても暑いですが、夜から朝方に気温が下がるので過ごしやすいです。

冬は、日照時間が大変少なくなりますが、気温は意外と暖かいです。一番気温の下がる1月、2月でも、平均気温が氷点下になることはありません。

近年は、雪が大変少なくなっています。
ここ5年の平均で、1日の最大降雪は約30cm、最深積雪でも約50cmです。毎日雪が降り続くと言うより、ある期間に集中して降ることが多いです。

●夏にエアコンは必要ですか？

北陸の夏は高温多湿。例年、8～9月にかけて最高気温が35度前後になる蒸し暑い日が続きますのでエアコンは必須です。しかしながら、砺波地方の伝統家屋は背の高い屋敷林に囲まれているため、木々が夏の強い日差しを遮る役割を果たしてくれます。

また、家々が点在しているがゆえに、隣近所の目を気にせずに、大きな窓を開け放して自然の風を取り込むこともできるため、実際の気温よりもきっと涼しく感じることでしょ。

●雪に対する備えは？

スキーに雪合戦に雪だるまづくり…砺波の子どもたちにとって雪は最高の遊び友達。でも、移住される方にとって、雪のある暮らしはちょっと心配かもしれません。

冬は、厚手のコートや手袋などの防寒具や、長靴・ブーツなど足元の雪対策が必要です。平野部では、屋根雪下ろしが必要なほどの降雪はめったにありませんが、玄関前の雪かきをするための「スコップ」や「スノーダンブ」などの除雪道具はあったほうが良いでしょう。

市内には消雪パイプが張り巡らされており、さらに、消雪パイプが無い道路でも積雪10cm以上で除雪車が出動しますので、通勤通学時に雪で動けなくなる心配はありません。車を運転するときは、通常12月中旬頃～3月中旬頃までの間、冬タイヤ(スタッドレスタイヤ)の装着が必要です。雪道の運転も、何度か運転すれば徐々に慣れてきます。安全運転で、冬の砺波ライフを満喫しましょう。

●冬の暖房代(灯油代)は？

建物の構造や日中の日当たりなどにもよりますが、11月後半から3月中旬頃までの期間、ストーブやコタツなどの暖房器具を使用します。灯油代は一般的な一戸建住宅だと月2万円位です。(家の築年数や、断熱構造の違いなどによって差があります。)





兵庫県出身 足立真希さん 東京都出身 マクニ科尔良治さん

古民家を生かして、 多くの人とふれあう。

映像制作者の創作活動を支援する、
アーティスト・イン・レジデンス

マクニ科尔良治さんと足立真希さんは、NPO法人「地球映像ネットワーク」に所属し、同NPOが開催する「世界自然・野生生物映像祭」で知り合いました。2016年の初めに砺波に移住し、生活&仕事のパートナーとして築300年の歴史を持つ庄屋屋敷を改修して2人暮らしをしています。その古民家は、同映像祭の拠点。富山で映像祭が開催されるときには多くのボランティアスタッフや、映像制作者が集まりますが、それ以外の時も制作者が滞在できる場となっています。

「制作者の方々から、「ここには日本の文化が詰まっているし、居だけでクリエイティブな発想が得られる」と言われ、彼らの創作活動を支援するアーティスト・イン・レジデンスに

しようということになりました。そのプロジェクトを始めるために、私たちが移住することになったんです」(足立さん)

今はラブラドルの「スカイ」、猫の「そら」も一緒に住んでいます。

古民家を仕事場とする、
リモートワーカー。

蔵を改造した仕事部屋で働く2人。仕事部屋はあるものの、オフィスを持たない2人は、今話題のリモートワーカーです。

マクニ科尔さんの本業は、フリーランスの写真家です。「これからは砺波で映像を撮っていきます。海外プロダクションと提携して一緒に砺波を盛り上げようと、企画を立てているところ。映像祭と連動してできたらいいと思っています」(マクニ科尔さん)

移住者
となみん
インタビュー
①





一方、足立さんの本業は、フリーランスの字幕制作者です。「字幕のつけ方はNPOに入ってから学びました。今はスポーツや海外ドラマ、ドキュメンタリー映像の字幕制作事業に携わっています。インターネットがあれば、どこでも仕事ができますから不都合はありません」(足立さん)

**多くの人とふれあいながら、
ありのままの砺波を楽しむ。**

2人は近所の方々との交流も盛ん。「近所に挨拶回りをしていた時、地域の新年会に誘っていただき、参加させてもらいました。また、冬に家の周りが雪で埋まった時には除雪の手伝いに来てくださったり、夏には野菜をいただいたり、近所の方々には良くしていただいています」(足立さん)

もちろん、アーティスト・イン・レジデンスとして木彫り職人や

写真家など、さまざまなアーティストも訪れています。「家からJR砺波駅まで車では約15分ですが、公共交通機関を使う場合はバス停まで徒歩20分、そこからバスで15分と遠いんです。でも、アーティストの方々は「毎日20分歩きながら農村の風景を見たり、同じ人に会って挨拶するのが嬉しい」と言います。その視点がいいなと思いますね」(足立さん)

ありのままの砺波を享受するアーティストの方々。2人も「ここに来て良かった」と、すっかりお気に入りのようです。

**砺波への移住をお考えの方へ、
ふたりが思う砺波の魅力。**

「10年以上、この家の庭の手入れを手伝ってくださっているシルバー人材センターの女性たちから、「昔の家は周囲をぐるりと回ると、柿の木など、どこかに食べ物があるよう

に作られているんですよ」という話を聞いた時に、すごく素敵だなと思いました。東京はお金がないと何もできないところですが、ここは川で遊ぶことも、山にキノコを取りに行くこともできます。食べ物もおいしいので、こっち来てから太っちゃいました(笑)」(足立さん)

「人ときちんとつながれるところがいいなと思いますね。ここに来る前は閉鎖的なところだと聞いていましたが、実際は皆さん明るくて、ストレートに接してくれて、人のつながりが心地よいと思います。制作者の方々がヒッチハイクをした際、快く車に乗せてくれる親切な方がいて嬉しかったと話していました」(マクニ科尔さん)

2人の明るい表情こそが、砺波に対する高い満足度の証です。



左：マクニ科尔さんが撮影した猫のそらちゃんの写真は、ソニー主催の「a cafe 腕自慢フォトコンテスト」に入選(2014年)。

マクニ科尔良治(まくにこる・よしはる) NPO法人地球映像ネットワーク理事。1984年、東京都出身。5歳でスコットランドに移住。19歳でオックスフォード大学に入学し、22歳で日本に帰国。アジア学院の講師などを経て、フリーランス写真家の傍ら出版社に勤務。現在は写真家、ドッグトレーナーとして活動しながら、新会社設立に奮闘中。

足立真希(あだち・まき) NPO法人地球映像ネットワーク事務局。1987年、兵庫県出身。10～14歳まで米国に滞在。18歳で東京学芸大学に入学し、19歳でアフリカに渡航。21歳でエイズ孤児支援NGO・PLASに出会い、ウガンダやケニアで学校建設や母子感染啓発事業に携わる。現在、NPOの運営の傍ら、フリーランスとして字幕制作事業に携わる。

●「砺波市空き家情報バンク」についてはこちら
やっぱり砺波で暮らそう **検索** ▶ 家探し

移住者
となみん
インタビュー
②

伝統彫刻を重んじつつ、 新たな物づくりに挑む。



右上：祭礼で使われている、今井さん作の獅子頭。
右下：高岡クラフトコンペ
で入選した椅子。

会社員から彫刻師へ、
多彩な活動で砺波を謳歌する。

砺波市に隣接する南砺市井波は、「井波彫刻」で知られるまち。200本以上のノミや彫刻刀を使って仕上げるその技法は国の伝統的工芸品に指定されています。

今井さんは、その彫刻師として、砺波市に自宅兼工房を構えています。彼が彫刻師を志したのは、名古屋のデザイン会社に勤めていた25歳の時。「手に職を付けて、最初から最後まで自分1人でものづくりをしたい」と思うようになった時、井波彫刻の優れた技術と環境を知ったことがきっかけでした。すぐに会社を辞め、親方を探すために井波へ。彫刻師の古川鎮雄さんと出会い、古川さんの家に住み込んで下積み生活を5年続けた後、彫刻師として独立しました。「僕の父は工務店勤めで、家には木材や道具がありました。小さい頃から、そういうものにふれていたことも、今の道を選んだことに影響しているのかもしれませんが」と振り返ります。

住居兼工房は、かつて建設会社の社員寮として使われていた建物。その建物を借りる形で、少しずつリフォームしながら暮らしています。「仕事では天神様をはじめ、仏像、表札のほか、椅子やiPadケースなどいろいろなものを作っています。

作品を完成させるには塗師の方や木材屋さん、建具屋さんなど地元の職人さんの力が必要。そのような職人さんが揃っていた場所が、砺波でした」と今井さん。伝統を大切にしながら、自身の経験を生かして新しい作品づくりにも挑んでいます。

仕事だけにとらわれない生き方も、今井さんの魅力。砺波市の青年サークル「となみ元気道場」に所属し、砺波市を元気にする企画の数々を実施するほか、会社員時代に始めたDJとしての活動も活発に行っています。

砺波への移住をお考えの方へ、 今井さんが思う砺波の魅力。

「彫刻は、自分の仕事だけでは完成しない部分があります。もともとは1人ですべてを完結させたいと思って彫刻師を志しましたが、実際は周囲の人たちの力を得ないと何も生み出せません。ここには多彩な分野の職人さんが集まっていて総合的に環境が整っています。また、自然が豊かで時間の流れもゆったりと感じられ、人がのびのびと暮らしているところもいいなと思います。これからもずっと砺波で人生を謳歌していきたいですね」と話す今井さん。砺波は今井さんにとって、生活の場としても仕事の場としても優れた環境のようです。

今井宏明(いまい・ひろあき) 1980年、京都府京丹後市出身。京都市のデザイン専門学校を卒業後、名古屋のデザイン会社に就職。会社ではディスプレイなどのパースデザインを担当するも、25歳の時に退社。井波彫刻師・古川鎮雄氏に入門し、5年間の下積みを経て独立、現在に至る。

京都府出身 今井宏明さん



移住者
となみん
インタビュー
③

リモートワークで、 富山の食の魅力を伝える。

東京で、富山の農家を知り、
砺波で、東京の仕事をする。

東京から出身地の富山県滑川にUターンした後、結婚を機に砺波に移り住んだ弥生一葉さん。現在は、東京の会社「umari」のグラフィックデザイナーとして、砺波で仕事を続けています。「紙媒体のデザインをしたり、企画書の清書をしたりしています。砺波にいても、スカイプやLINE(ライン)で連絡が取れるので、業務に支障をきたすことはありません」。

そんな弥生さんが、東京から富山にUターンしたのは、同社が運営する「六本木農園」でアルバイトをしていたことが契機です。六本木農園とは、若者の就農増加を目的に、全国の農家から届いた野菜を使って料理を提供していた実験的なレストランのこと。「ある時、富山の農家を主役にしたイベントが開催され、元気な農家の方々が富山にたくさんいることを初めて知りました。こういう人たちがいるのなら、富山に帰っても面白いことができるかもと思えたんです」と振り返ります。

移住後、「人からの頼まれごとは何でも引き受けようと決めていたんです」と話す弥生さん。本業の傍ら、富山で暮らす20～50代の女性約20名による情報誌「itona」の執筆に携わるほか、砺波の特産品などの魅力をツアーで伝える「KO・RA・



弥生さんが砺波で
出会って刺激を受
けた郷土料理。



RE」のメンバーとして、また富山の食材と塩との相性などを紹介するソルト(塩)コーディネーターとして活動をしています。

「母方の実家が漁師をしていたこともあって、小さい頃から新鮮なものを食べさせてもらっていました。東京に行ったことで、その有り難みに気づけたんです」。弥生さんの多岐に渡る活動の根底には、「食」があります。

砺波への移住をお考えの方へ。 弥生さんが考える、砺波の見方。

さまざまな活動を通して、豊かな人間関係を育んでいる弥生さんに、その秘訣を聞いてみました。

「いいところ探しをするといいんじゃないかなと思います。新しい土地は不安だと思いますが、ないもの探しを始めるときりがなくなるので、「これもあるし、あれもある」というふうに通じていきたいなと私自身気をつけています。また、移住後、何でも引き受ける姿勢でいたことも、今の人間関係につながっているのかなとも思います」。

同じものを見ても、思考ひとつで捉え方は大きく異なるもの。弥生さんのように「いいところ探し名人」になると、人生がより豊かになりそうです。

富山県滑川市出身(東京からUターン) 弥生一葉さん



弥生一葉(やよい・かずは) 1987年、滑川市出身。美大進学のため上京。食に目覚め、「六本木農園」に勤務するが、2013年に滑川へUターン。'16年、結婚を機に、砺波市苗加に移り住む。現在は、六本木農園の母体である「umari」富山事業部のスタッフとして、デザインなどの業務を在宅で行う。



「えんなか会」の活動。定期的に囲炉裏で火をたいて文化財を守っています。



オリジナルの観光ツアーで、砺波愛を広める。

河合要子さん（ウィズケイ、KO・RA・RE）

ありのままの砺波の魅力を、
いろいろな角度から紹介する。

砺波の人たちの暮らし方を愛してやまない河合さん。「その暮らし方を多くの人に知ってもらうことで、砺波を好きになる人が増えていってほしい」という思いから、2014年に3人の女性とともにグループ「KO・RA・RE」を結成しました。観光ガイドに必要な技術や企画力などを学んだ後、女性4人の豊かな発想やユニークな視点でさまざまなツアーを実施しています。

砺波には、庄川ゆず、大門素麺、チューリップ球根、庄川おんせん野菜、せんだん山そばなど、砺波が誇る地域産品「となみブランド」があります。その生産者のもとを訪れ、生産者と直接ふれあい、生産者の暮らしを体験できること



が、「KO・RA・RE」ツアーの最大の特徴です。

また、体験をすること、自分の足で移動することも、ツアーの決めごと。「去年は、そば畑でそばの花でミニブーケを作りましたが、あまりの牛糞臭さにみんなで大笑いしました。こういう体験を通して、美味しい蕎麦を作っていることをお伝えすることもできます」と微笑む河合さん。ありのままの砺波をいろいろな角度から切り取る独自性の強いツアーを通して、砺波の魅力を伝えています。

砺波への移住をお考えの方へ。

河合さんが考える、砺波の見方。

河合さんの本業は、イベントの企画・設営・施工を行う「ウィズケイ」の代表取締役。砺波チューリップ公園や周辺を無数の光で彩るイベントなどを手がけています。本業の傍ら、「KO・RA・RE」だけでなく、砺波市の指定文化財「旧中嶋家」を管理するボランティア団体「えんなか会」にも所属。それらの活動の根底には、砺波への愛が感じられます。そんな河合さんに、砺波の魅力を聞いてみました。

「砺波は、スーパーや大型ショッピングモールなどもあり、とても暮らしやすいところです。生活に便利でありながらも、



豊かな自然に恵まれた本物の田舎暮らしも体験できるまち。また、子育てに関しても、私が子育てをしていたときよりも、今の方が行政の手厚い支援を受けられます。急に子どもを預けなければならない状況になっても、身近な保育園や幼稚園が柔軟に対応してくれるそうなので、育児と仕事を両立しやすい環境が整っています。砺波は、住んでも後悔させないまちですよ」。

河合さんの話す言葉からは、砺波を愛する思いがひしひしと伝わってきました。彼女の話を知っているだけで、こちらまで自然と元気になります。

河合要子（かわい・ようこ） 1967年、砺波市野村島生まれ。22歳の時に、看板・イベント業を行う会社に入社し、23年勤務する。2012年、「ウィズケイ」を設立。2014年、「KO・RA・RE」設立。同年、「えんなか会」に所属。その他、「城端線もりあげ隊」「金屋石を語る会」にも所属し、砺波の魅力を広め続ける。



柴田泰利(しばた・やすとし) 1983年、砺波市庄川生まれ。2006年、国立静岡大学農学部卒業後、Uターン。同年10月に「泰栄農研」に入社。2015年3月、取締役就任。全国農業者会議プロジェクト発表で優秀賞受賞。

温泉を生かして、砺波の新しい味を生み出す。

柴田泰利さん(泰栄農研)

柴田さんは、「となみブランド」の認定商品である「庄川おんせん野菜」の栽培に勤しむ若手の農業従事者です。学生時代は、設計士を夢見て他県の大学に進学しましたが、家業の「泰栄農研」を継ぐためUターン。以来、同社で働いています。

同社のある庄川地域は、庄川清流温泉が豊富に湧き出る地域。その温泉の成分が野菜に必要な栄養を含んでいることに気づき、2013年にその温泉を使って野菜の栽培をスタートしました。それが、庄川おんせん野菜の始まりです。想像以上に健やかに育ったため、庄川清流温泉の成分表を仲間とともに作成。その結果、庄川清流



柴田さんが育てたとっても甘いとうもろこし。

温泉はナトリウム、カルシウム、マグネシウムなどの成分をバランス良く、豊富に含む希少な温泉で、野菜づくりに最適なことが判明したそうです。特にトマトととうもろこしは、食べたときの味が確実に分かります。どちらもあまりの美味しさに驚いてしまうほどです。

今後はロゴマークを作り、庄川おんせん野菜を全国に広めていく予定。その活動を先頭に立って進めているのも柴田さんです。「いろいろな人にロゴマークを使ってもらって、みんなで庄川おんせん野菜を盛り上げていきたいと思っています」と意欲的。砺波にお越しの際には、庄川おんせん野菜をぜひ味わってみてください。

祭りへの憧れから、ふるさと砺波へUターン。

佐藤丈寛さん(佐藤鉄工所、夜行会)

砺波市には、各町内の人たちが木材や和紙を使って作る行燈山車「夜高行燈」があります。その美しい姿を見られる「となみ夜高まつり」は毎年6月に開催され、多くの人出で賑わいます。佐藤さんは、その祭りを盛り上げるための団体「夜行会」の会長を務めており、「小学校の時からずっと夜高に関わっていて、社会人になってからも毎年東京から帰省して参加していました」といほど、夜高が大好きです。

2010年に東京の金融系の会社を辞めて砺波へUターンしたのは、夜高への憧れが大きな理由でした。現在は、お父様が代表を務める「佐藤鉄工所」の社員として働いてい



夏の夜空に映える鮮やかな夜高行燈。

ます。「砺波には他から来た人を温かく受け入れるところがありますが、特に夜高行燈の製作に関わると、その町内の人たちとひとつになれるところがあります。移住をお考えの方も、Uターンで戻られる方も、ぜひ町内の行事などに参加してください。地域の人たちと仲良くなることで、都会では味わえない温かい暮らしができると思います」と話す佐藤さん。佐藤さんは、一度砺波を離れたからこそ、砺波の良さを再認識し、自分の人生にとって何が1番大切かをとおのずと感じ取れたのかもしれません。誰にとっても自分らしく生きられる場所が、きっとあるはず。砺波には自分を正直にさせる、人間味あふれる暮らしがあります。



佐藤丈寛(さとう・ともひろ) 1983年、砺波市広上町生まれ。大学卒業後、東京の金融系の会社に就職したが、2010年にUターン。お父様が代表を務める「佐藤鉄工所」の社員に。2016年2月から「夜行会」の会長。

家族とゆったり豊かな暮らし

人口1人あたりの
都市公園面積 **19.07m²**

●全国平均 10.1m²
国土交通省「都市公園等整備現況調査」(平成26年度)

広々した
環境で
楽しい休日!

持ち家比率 **79.3%**

●全国平均 62.3% 総務省「平成27年国勢調査」

広い家で
子供も
のびのび
育つ

県民所得 **3,077千円**

●全国平均 2,754千円 平成24年国民・県民経済計算年報

経済的
にも豊かな
暮らし

安心・安全なまち

医療施設数 **0.92施設**

●全国平均 0.86施設
厚生労働省「医療施設調査」(平成26年、人口千人あたり)

急な病気でも
近くにあって
安心!

火災発生件数 **2.62件**

●全国平均 3.41件
消防庁「消防白書」及び富山県消防課「消防防災年報」(平成26年、人口1万人あたり)

防火意識も
高い!

犯罪件数 **4.41件**

●全国平均 9.34件
警察庁「警察白書」及び富山県警本部「市町村別の犯罪」(平成26年、人口千人あたり)

地域の
見守りで
安心した
暮らし

有感地震回数 **1回**

※全国で2番目の少なさ
気象庁「地震・火山月報」(平成26年)

地盤が強い!
立山が守って
くれる?

数字から 見る砺波

砺波市の魅力を
全国比較のデータで
まとめました。

働きやすい子育て環境

女性就業率 **53.9%**

●全国平均 47.1% 総務省「平成22年国勢調査」

共働きで
家計にゆとり

待機児童の人数 **0人**

厚生労働省 保育所待機状況と概要平成27年4月

子供が
いても
働きやすい

保育所入所率 **60.4%**

●全国平均 40.3% 厚生労働省「社会福祉施設等調査」

認可保育園
で安心!

自分らしい生活スタイル

有効求人倍率 **2.15倍**

●全国平均 1.34倍 厚生労働省 富山労働局(平成28年4月)

専門職や
サービス業の
求人多数!

市民の約**70%**が
通勤時間**30分未満**

●関東圏の平均通勤時間 51分
2015年国民生活時間調査、砺波市アンケート調査

富山市、
金沢市も
通勤圏内

民営住宅の家賃 **3,979円**

●東京の家賃 8,704円
総務省「平成26年小売物価統計調査」(1ヶ月 坪あたり)

家賃が安くて
将来設計も
バッチリ

移住の
ための



家探し

不動産屋さんを通じた家探し

砺波市内には、民間の不動産業者が取り扱う賃貸アパートや借家が豊富にそろっています。物件情報は、物件検索サイト等をご利用ください。

家賃の目安▶ 単身向け住宅 3万円台～5万円台／世帯向け住宅 4万円台～7万円台

【検索サイト】

- CHINTAI www.chintai.net
- SUUMO www.suumo.jp
- at home www.athome.co.jp など

市営住宅

市営住宅には、低所得者向けの「公営住宅」と中堅所得者向けの「特定公共賃貸住宅」の2種類があります。同居する家族がおり、入居世帯の収入月額(所得月額)が一定基準以下であることなどを条件に入居していただけます。

家賃は、世帯収入月額によって公営住宅が1万円台～5万円台、特定公共賃貸住宅が5万円台～9万円台まで設定されています。入居条件や家賃、空き室状況などについては、下記お問合せ先までお尋ねください。

- 砺波市建設水道部都市整備課 ☎0763-33-1111(代)



市街地近くで生活に便利な公営住宅です。(2DK～)



庄川地域にあるキレイな特定公共賃貸住宅です。(3DK)

砺波市空き家情報バンク

市内にある空き家の物件情報をインターネット上で公開しています。

砺波市ならではの伝統家屋や古民家、核家族向けの一般住宅までさまざまな賃貸物件や売買物件が登録されています。

- 最新のおすすめ物件はこちら [やっぱり砺波で暮らそう](#) [検索](#) ▶ 家探し

【空き家情報バンクの利用のしかた】

【ステップ1】 空き家情報の公開

登録された物件は、市のホームページ等にて情報公開しています。

【公開内容】

登録番号／賃貸又は売却の別／住所地(地域のみ)／契約方法／希望価格／建物等の概要(面積、階数、構造等)／利用状況／設備状況／主要施設等までの距離／位置図及び間取り図／写真など

【ステップ2】 利用登録 申込書の提出

ホームページ等を見て利用を希望する物件があった場合、「空き家バンク利用登録申込書」及び誓約書に必要事項を記入し、提出してください。

【ステップ3】 物件の交渉

物件登録時に選択された契約方法により、次のような手続きになります。

①協定を結ぶ不動産業者の仲介を依頼する場合(間接型)

利用希望の申込みがあった場合、物件所有者へ市から連絡し、宅建業者が交渉を仲介します。

(この場合、法律で定められた仲介の手数料が発生します。)

②当事者間で行う場合(直接型)

利用希望の申込みがあった場合、物件所有者へ市から連絡し、その後両者で交渉となります。

※ご注意…市は契約交渉に関与いたしませんのでご了承ください。

契約等に係る一切の紛争については、当事者間で解決願います。

物件購入額の目安▶ 5百万円台～2千万円台

- となみ散居村ミュージアム ☎0763-34-7180

住まいのための支援制度

砺波への移住を手助けする住まいのため各種支援制度を準備しています。

詳しくは、17ページ「砺波暮らしの各種支援制度」をご覧ください。

移住の ための



仕事探し

就職したい方

フルタイム求人では土木技術者や建築士、介護職員、看護・薬剤師など、専門職の求人が多い傾向があります。

パートタイムでの求人では、調理スタッフやウエイター、清掃員、ヘルパー、販売員などが多く見られます。

砺波市は高速道路、国道・県道など幹線道路も充実しておりますので、隣接市へ勤務する選択肢もあります。

砺波の産業別求人数



平成27年度 砺波公共職業安定所調べ

- ハローワーク砺波 ☎0763-32-2914
定期的に求人企業説明会や面接会を開催しています。
- ヤングジョブとやま www.youngjob-tym.jp
若者の就職に関するさまざまなサポートを行っています。
- 砺波市企業ガイド [砺波市企業ガイド](#) [検索](#)
砺波市の企業情報や求人情報をご覧いただけます。

起業・開業したい方

砺波市で新たに起業・開業される方への研修制度や各種支援制度をご用意しています。

【とやま起業未来塾】 www.toyama-mirai.com/

起業・開業を目指す人や新分野進出をめざす企業後継者などを対象とした起業実践塾を開催しています。

【砺波市ハイテクミニ企業団地】 www.ccis-toyama.or.jp/tonami/hitec/

市内外の企業に働く技術者で独立心と起業家精神の旺盛な方々や、新分野進出を志す方々にミニ工場・事務所を低料金で一定期間貸与します。

【起業・開業に対する支援・各種相談窓口】

起業・開業を目指す方に対して資金面での支援や情報提供などを行っています。

- 砺波市商工農林部商工観光課 ☎0763-33-1111(代)
 - 砺波商工会議所 ☎0763-33-2109 ●庄川町商工会 ☎0763-82-1155
- 補助金一覧▶17ページをご覧ください。

農業をやってみたい方

砺波市の散居村を形成する土地の大部分は農地であり、水稻を中心とした農業が行われています。米以外では、特産品のチューリップ球根や切花、ゆずやリンゴなどの果樹、全国一の受託生産を誇る水稻種子(種籾)の栽培が盛んです。

これから農業にチャレンジしてみたいという方には就農に向けた研修や給付金制度などさまざまな支援を行っています。

【農業体験】

農業体験をしてみたい方や田舎暮らしを体験してみたい方を対象に宿泊体験ツアーを開催しています。

とやま帰農塾(砺波塾)

- NPO法人グリーンツーリズムとやま ☎076-482-3161 gt-toyama.net

コシヒカリオーナー制度(田植え・稲刈り体験)

- 砺波市役所内(公財)砺波市農業公社 ☎0763-34-0011

チューリップファン倶楽部(チューリップ花摘み体験)

- 砺波市役所内(公財)砺波市農業公社 ☎0763-34-0011



【就農に向けた研修】

富山県内での就農希望者に対して、農業の基本的知識や実践的技術を習得できる通年研修を実施しています。

- とやま農業未来カレッジ ☎076-461-3180 taff.or.jp/nou/college

【就農に対する支援】

砺波市では、農業に就業したい人に向けて、さまざまな情報の提供、就農に対する財政支援などを行っています。

- 就農相談窓口 砺波市商工農林部農業振興課 ☎0763-33-1111(代)
- 補助金一覧▶17ページをご覧ください。

移住の ための



子育て

保育所・幼稚園

市内には公立保育所が11箇所、私立保育所が2箇所、公立幼稚園が9箇所、私立認定こども園（幼稚園型）が1箇所あり、延長保育や一時預かりなどのサービスを提供しています。

なお、平成29年4月からは、**市内で初の幼保連携型認定こども園2園**がオープンします。

【一時預かり】

仕事や入院・通院、冠婚葬祭等のために一時的に家庭で保育できなくなった場合に保育所で一時的にお預かりします。（月曜～金曜日 午前8時30分から午後4時30分まで）

【病後児保育】

病気回復期のお子さんの看護が必要であるが仕事を休むことができない場合にお預かりします。（ちゅうりっぷ保育園 月曜～金曜日 午前8時30分から午後4時30分まで、事前予約・利用料金が必要です。）



小学校・中学校

市内には小学校が8校、中学校が4校あり、すべての学校の耐震化工事が完了しています。また、日中、保護者のいない小学校児童を対象に放課後児童クラブや児童センターを開設しています。

【放課後児童クラブ】

授業の終了後や春休みや夏休み、冬休み期間中に、保護者が仕事などの都合で児童（小学生）をみることができない場合に、お預かりします。

【児童センター・児童館】

放課後や土曜日等に児童の皆さんが自由に遊びに来ることができる施設です。

子育てのための助成制度

砺波で安心して子育てしていただくため、家計の助けとなる各種助成制度を準備しています。詳しくは、17ページ「砺波暮らしの各種支援制度」をご覧ください。

子育て支援事業

子育てのための各種支援事業を行っています。

● 砺波市教育委員会こども課 ☎0763-33-1111（代）

事業名	対象者	内 容	場所・時間
子育て支援センター	未就園児とその家族	遊びの体験、子育てに関する相談、子育てサークル等への支援、母親の交流、園児との交流などを行います。	【市内7施設】 月～金曜日 午前9時～午後3時
すくすく広場（保育所開放）	未就園児	保育所を開放し、遊びの体験・母親の交流、園児との交流、育児相談などを行います。	【市内8保育所】 年5回 午前9時～11時
あそびの広場（幼稚園開放）	未就園児	幼稚園を開放し、遊びの体験・母親の交流、園児との交流、育児相談などを行います。	【市内4幼稚園】 毎月1～4回程度 午前9時30分～11時
親子ふれ愛塾	未就園児までの子と親、祖父母	遊び体験、ふれ愛活動、育児相談などを行います。（要事前申込）	【苗加苑ほか】 4～3月まで年間10回 午前10時～11時30分
子育て・親育ち講座	児童の保護者	講師を迎えて、子育てについての講演会を行います。	【各小学校】 10月～2月
家庭児童相談室	幼児から高校生までの子ども及び保護者	家庭における子育ての悩み等について、専門的な相談に応じます。	市役所こども課内 家庭児童相談室 相談時間／月～金曜日 午前8時30分～午後5時
ファミリーサポートセンター	0歳～小学校6年生のお子さん	仕事や家庭の都合で子育てを援助してほしい人と子育てを援助したい人が登録する会員制度です。市は援助してほしい人と有償ボランティアとして援助したい人の仲介を行います。	北部子育て支援センター 庄川子育て支援センター 受付／月～金曜日 午前8時30分～午後5時

公園・遊び場情報

市内の至るところに公園が整備されており、子育て世代の憩いの場となっています。

詳しくは、砺波市子育て支援ガイドをご覧ください。 [砺波市子育て支援ガイド](#) [検索](#)



おとぎ話のような雰囲気「砺波チューリップ公園」



飛行船のような遊具が楽しい「風の丘公園」

砺波暮らしの各種支援制度 詳しくは **砺波助成金** **検索**

	名 称	概 要	お問い合わせ
住宅等	定住促進 空き家利活用 補助金	「砺波市空き家情報バンク」に登録されている空き家を購入し改修する場合、または空き家を賃借する場合、費用の一部を助成 ・空き家を購入する場合 改修等経費の1/2(上限50万円) ※三世代同居するために改修する場合は、改修等経費の3/4(上限75万円) ・空き家を賃借する場合 家賃月額1/2(上限1万円、2年間)	市役所 企画調整課 ☎0763-33-1111
	住みよい家づくり 資金融資	子育て世帯や県外からの定住世帯を対象に、住宅の取得やリフォームのための資金融資に対して、金利の優遇と利子の一部を補給(H28年度 優遇金利1.6%、利子補給0.6%相当)	富山県 建築住宅課 ☎076-444-3355
	三世代同居 住宅支援事業 補助金	三世代同居住宅の新築、増改築に対して、対象となる工事費用の1/10を助成(上限20万円)	市役所 都市整備課 ☎0763-33-1111
	木造住宅 耐震改修支援 事業費補助金	対象となる木造一戸建て住宅の耐震改修工事費の2/3を助成(上限60万円)	市役所 都市整備課 ☎0763-33-1111
	木造住宅 耐震診断支援	通常5～10万円かかる耐震診断が、2～6千円の自己負担で行えるよう支援	(一財)富山県 建築士事務所協会 ☎076-442-1135
	高齢者が住みよい 住宅改善支援事業	65歳以上の高齢者世帯を対象に、住宅の便所、浴室、廊下、玄関、居室等のバリアフリー化を行うために必要な改修工事費の2/3を助成(上限60万円)	市役所 高齢介護課 ☎0763-33-1111
	浄化槽 設置整備事業 補助金	下水道未整備区域において浄化槽を設置する場合に補助金を交付(例：5人槽40万円、6～7人槽50万円、8～10人槽65万円)	市役所 上下水道課 ☎0763-33-1111
	散居景観保全事業	「散居景観を活かした地域づくり協定」を結んだ地区内の屋敷林の維持管理に要する費用の1/2を助成(上限：枝打ち25万円、育成15万円)	市役所 農地林務課 ☎0763-33-1111
	生け垣設置補助金	生け垣植栽に要する樹木および資材の購入費の1/2について助成(上限30万円 ※生け垣の延長によって異なる)	市役所 農地林務課 ☎0763-33-1111
	生ごみ処理容器等 購入費補助金	生ごみ処理容器等購入費の1/3を助成(上限：簡易生ごみ処理容器3千円、電気式生ごみ処理機1万円)	市役所 生活環境課 ☎0763-33-1111
仕事(起業・資格)	空き店舗再生 みんなでチャレンジ 事業補助金	中心市街地の空き店舗や空き家情報バンクに登録されている物件を改修し店舗として活用する場合、改修費等対象経費の1/2を助成(上限200万円)	市役所 商工観光課 ☎0763-33-1111
	地域資源活用事業・ 農商工連携事業 補助金	地域資源を活用した新商品の開発や普及、販路拡大および中小事業者が農業者と連携して新商品や新サービスを生み出すために必要な対象経費の1/2を助成(上限20万円)	市役所 商工観光課 ☎0763-33-1111
	空き家再生等 推進事業 補助金	空き家を、交流施設、文化施設、体験施設等の用途に活用する事業に必要な経費に対し、補助金を交付(伝統家屋を改修し、「とらみブランド」の消費拡大や販売促進につながる先導的な事業については、補助対象経費の2/3、上限1,000万円)	市役所 企画調整課 ☎0763-33-1111
	空き家活用型 福祉施設 整備事業補助金	「砺波市空き家情報バンク」に登録されている家屋を活用し、対象となる介護または障害施設を整備した場合、経費の一部について補助金を交付(上限400万円)	市役所 高齢介護課 ☎0763-33-1111
	介護職員初任者 研修費助成金	介護職員初任者研修の資格を取得するために要する費用(受講費相当額)の1/4を助成(上限1万円)	市役所 高齢介護課 ☎0763-33-1111

※下記支援制度はH28年10月末現在の情報です。各支援制度の対象の可否や助成金額などの最新情報については、あらかじめお問合せください。

	名 称	概 要	お問い合わせ
仕事(農業)	青年就農給付金	45歳未満の若者を対象に、就農前の研修期間(2年以内)に年間150万円、経営が不安定な就農直後(5年以内)に年間最大150万円を給付	市役所 農業振興課 ☎0763-33-1111
	チューリップ球根 新規生産 振興事業	チューリップ球根の新たな生産者や栽培技術の習得等に対して補助金を交付 ・新規生産者 (1年目)45万円 (2年目)35万円 (3年目)35万円 ・栽培技術習得にかかる研修 10万円(補助率1/2) ・指導の匠による栽培技術指導 定額5万円/年	市役所 農業振興課 ☎0763-33-1111
出産・子育て	不妊治療費 助成	対象となる特定不妊治療および特定不妊治療の一環として行う男性不妊治療について、1回につき15万円までを助成	砺波市健康センター ☎0763-32-7062
	未熟児 養育医療給付	指定養育医療機関で行う未熟児の医療費の一部(保険診療分のうち自己負担額)を助成	市役所 こども課 ☎0763-33-1111
	妊産婦 医療費助成	対象疾病にかかった妊産婦の医療費の一部(保険診療分のうち自己負担額)を助成	市役所 こども課 ☎0763-33-1111
	子育て支援 医療費助成	中学校卒業までの児童等の医療費の一部(保険診療分のうち自己負担額)を助成	市役所 こども課 ☎0763-33-1111
	ひとり親家庭等の 医療費助成	ひとり親家庭等に対し医療費の一部(保険診療分のうち自己負担額)を助成	市役所 社会福祉課 ☎0763-33-1111
	児童手当	中学校卒業まで児童等を養育している場合に児童手当を支給(月額：3歳未満1万5千円、3歳以上小学校修了1万円(第3子以降は1万5千円)、中学生1万円)	市役所 こども課 ☎0763-33-1111
	とやまっ子 子育て応援券	3歳未満の児童をもつ家庭に、保育サービス等で利用できる金券「とやまっ子 子育て応援券」を配布(第1・2子は1万円分、第3子以降は3万円分)	市役所 こども課 ☎0763-33-1111
	となみっ子 子宝券	平成27年4月1日以降に生まれた子どもを三世代同居で養育している場合に、子育て支援サービスに使用できるクーポンを配布(歳1・2子は1万円分、第3子以降は3万円分)	市役所 こども課 ☎0763-33-1111
	三世代 子育て応援給付金	三世代同居の孫世代の子どもを0歳から2歳まで自宅で育児した場合に給付金を贈呈(1人目10万円、2人目以降5万円)	市役所 こども課 ☎0763-33-1111
	チャイルドシート 購入費補助金	6歳未満の乳幼児のためのチャイルドシート購入費の1/3を助成(上限5千円)	市役所 生活環境課 ☎0763-33-1111
その他	高齢者 ちょっとねざらい 事業	三世代家庭の75歳以上の高齢者が年齢の節目(5歳毎)を迎えた場合、市内の宿泊施設等で利用できる利用証を進呈(上限1万円/1人)	市役所 社会福祉課 ☎0763-33-1111
	介護者も ちょっと一息 事業	三世代家庭の65歳以上の要介護者(4または5)がショートステイを利用した場合、利用料の一部(対象となる自己負担相当額)を助成	市役所 高齢介護課 ☎0763-33-1111

まずは、砺波の暮らしを体感してください！

砺波へ移住をご検討の方は、まず一度訪れて体感いただくことをおすすめします。

地元のサポーターが、あなたの移住を応援します！ 地元の実情にも触れたいし、住民との交流もしたい、住居候補も探したい…など、ご希望に合わせた滞在プランも可能ですので、ご相談ください。

詳しい日程・詳細は、随時
ウェブサイトにて発信中！



砺波市移住定住応援サイト「やっぱり砺波で暮らそう。」

WEB www.tonami-life.net

生活体験

砺波市定住体験施設 佐々木邸

- 築100年以上の歴史がある、砺波地方の伝統的家屋！
- 通りぬける風、虫の声、植物のにおい…四季を感じる農村空間！
- 砺波市中心部まで車で5分、アクセスも良くて便利！
- バス、トイレ、キッチンなどの水廻りはバッチリ改修済みで安心！

築100年の
古民家を
ぜひ体験して
ください！

伝統の
太い梁や柱に
圧倒されます！

体験料／おひとり1泊1,000円(連泊は1週間以内)、布団レンタルあり(1泊2日1,600円～) ※ご持参OK
利用条件／砺波市へ移住・定住されたい方および伝統家屋で生活体験してみたい方
設備／液晶テレビ、無線LAN、洗濯機、乾燥機、水洗トイレ、ユニットバス(エアコンはありません)
留意事項／台所での調理可。ただし食材、調味料、シャンプー、石鹸などの身の回り品はご持参ください。

移住体験ツアーも随時開催！

移住をご検討されている方のために、十分な情報を得られるプログラムをご用意しております。詳しくはウェブサイトをご確認ください。

移住体験ツアー～住まい丸わかり～(2016年9月実施)



お問合せ
お申込み

TEL 0763-34-7180

E-mail info@sankyoson.com

となみ散居村ミュージアム 富山県砺波市太郎丸80番地

農業体験

砺波塾(とやま帰農塾)

地元の方と一緒に過ごす3日間。散居村の伝統文化をじっくり体験！
植え付けや収穫等その時季の地元特産物の農業を体験します。

●お問合せ・お申込み／
グリーンツーリズムとやま ☎076-482-3161
E-mail info@gt-toyama.net



コシヒカリオーナー

オーナーは年に2度、田植えツアーと稲刈りツアーに参加でき、農業体験しながら、地元の新米を味わえます。

●お問合せ・お申込み／(公財)砺波市農業公社 ☎0763-34-0011 E-mail tonamiag@cap.ocn.ne.jp



チューリップファン倶楽部

会員になりますと、砺波の主産業であるチューリップ生産を体験できるフラワー体験ツアーに参加でき、こちらも好評です！



となみ 砺波市への主なアクセス

富山県砺波市



航空

富山きときと空港から砺波市まで、車で約50分
富山きときと空港からJR富山駅まで、直通バスで約30分(410円)

東京から 羽田空港 → 全日空(約1時間) → 富山きときと空港
札幌から 新千歳空港 → 全日空(約1時間30分) → 富山きときと空港

鉄道

東京から 東京駅 → 北陸新幹線(約2時間40分) → 新高岡駅
大阪から 大阪駅 → 北陸本線(特急)～北陸新幹線(約3時間) → 新高岡駅
名古屋から 名古屋駅 → 東海道本線～北陸本線(特急)(約3時間30分) → 高岡駅
高岡から 高岡駅・新高岡駅 → 城端線(約20分) → 砺波駅

高速道路

東京から 練馬IC → 関越～上信越～北陸自動車道(約5時間30分) → 砺波IC
大阪から 吹田IC → 名神～北陸自動車道(約4時間) → 砺波IC
名古屋から 一宮IC → 名神～東海北陸～北陸自動車道(約2時間40分) → 砺波IC

高速バス

東京から(約7時間)／大阪から(約5時間)／名古屋から(約3時間) → 砺波駅

移住・定住に関して、お気軽にお問い合わせください。

TEAM
1073

あなたの移住・定住を応援します

チームとなみ
Team1073窓口

E-mail team1073.contact@tonami-life.net

●まずはこちらへ。ご質問などもお気軽にどうぞ!

移住・定住全般 のお問い合わせ

TEL **0763-33-1111** (砺波市役所 企画調整課内)

※砺波市役所の代表番号ですので、「Team1073(チームとなみ)窓口」を呼び出してください。
〒939-1398 富山県砺波市栄町7番3号

空き家バンク・移住体験ツアーなど のお問い合わせ

TEL **0763-34-7180** (となみ散居村ミュージアム内)

〒939-1368 富山県砺波市太郎丸80番地

NEW
最新情報は
ウェブで!

砺波市移住定住応援サイト

「やっぱり砺波で暮らそう。」

移住定住に関する詳しい情報や、耳よりなイベント情報などを発信しています。



WEB www.tonami-life.net

やっぱり砺波で暮らそう 検索

いいね!を
押してね!

Facebook&
ブログ公開中!

チームとなみ
「Team1073」

地域おこし協力隊や砺波市外出身メンバーが、外から目線で感じたありのままを
発信中。砺波を思い出したり、魅力を再発見できれば嬉しいです。ブログも公開中!

Facebook www.facebook.com/Team1073/

公式ブログ blog.city.tonami.toyama.jp/group/team1073



Team1073 となみ 検索

おわりに

ご覧頂きまして、誠にありがとうございました。
感想、ご意見等がありましたら、下記までメール下さいませ。

<Team1073窓口> team1073.contact@tonami-life.net



砺波市移住定住ガイドブック